

## 当院における私の役割

私の院内での役割は大きく分けて4つあります。まず、放射線治療センターの仕事が本務です。私が赴任した当時は医師1名・技師4名・看護師1名で1日10名程度の患者さんを治療していました。その後、患者さんの急増に伴い、放射線治療装置の増設・整備を行って、現在は医学物理士・医師事務作業補助者なども加わって大きなチームとなっています。多いときには1日50名を超える患者さんを治療しています。2つ目はがん相談支援センター長の仕事です。放射線治療医は、全身の様々な部位に発生した多様な状況の患者さんを治療しています。相談支援センターでもこの経験を活かしていきたいと考えています。今、相談支援センターでは、がんと診断された患者さんが一度は相談支援センターを訪ね

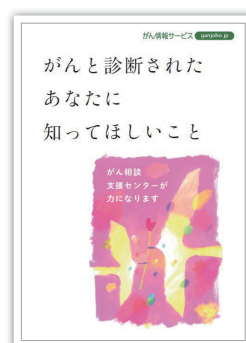
て下さるように取り組んでいます。3つめは遺伝子診療センターの仕事で、週1日は遺伝カウンセリングとがんゲノム外来を担当しています。がんゲノム外来ではがんゲノム検査やそれに基づく診断や治療を行っています。当院は厚生労働省が指定するがんゲノム医療連携病院であり、滋賀県では当院と滋賀医科大学附属病院が指定され、中核拠点病院である京都大学医学部附属病院と連携して診療を行っています。これら3部門はいずれも多職種で構成されたチームで患者さんに寄りそう診療をめざしています。患者さんや家族が医療に求めるものや心配事は多様です。個々のニーズに応えられるよう努力したいと思います。4つ目は広報委員会の仕事です。当院を紹介した「県民の元気をささえる滋賀県立総合病院の最新医療」の発刊に携わり、昨年からは当院の強みをさらに知って頂きたいと思い、このFACEの発刊を行いました。

## 私の当院におけるNo.1

院内外で教育・啓蒙活動を長く行っています。院内では赴任した2009年から当時の総長・副院長の指導の下、がん診療セミナーを定期的に企画・開催し、この2月で131回を数えます。院外ではがんに関わる学会が作成する複数のガイドラインや教科書執筆の仕事を長くさせて頂いています。特に乳癌診療ガイドラインは20年以上作成に携わっています。

また、最近ではがん相談支援に関わる仕事として、国立

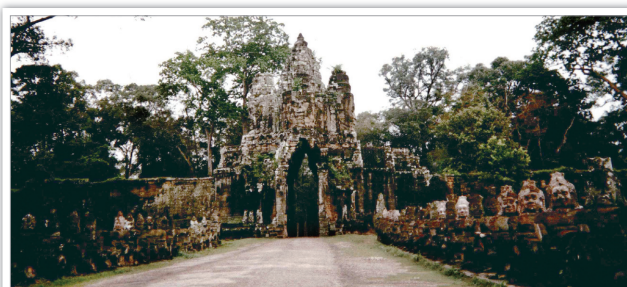
がん研究センターがん情報サービスが発行した「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと」の作成にがん相談支援センターの職員とともに参加しました。多くの患者さんが手に取って下さるようお願いしています。これからも患者さん・医療者の双方に役立つ情報発信を行っていきたくと考えています。



冊子の表紙

## 医師ではない私の素顔

若いときは多趣味で特に旅行・スポーツ・読書が好きでした。旅行は一人でリュックサックを背負って様々な国を旅しました。中でもカンボジアとネパールが心に残っています。スポーツは様々な球技、マラソン、自転車などをしてきましたが、今でも唯一続けているのはゴルフです。動くボールを扱う球技は得意だったのにゴルフは30年以上続けてもなかなか上達しませんので、逆に飽きずに続けているのかもしれない。読書はなかなか時間がとれず、最近では通勤中や入浴中に本を朗読してくれるアプリで「聞く読書」をするのが楽しみです。



カンボジアの思い出



スキー場にて



ツール・ド・能登

## 読者の皆さまへ一言

放射線治療を受けられる約99%はがん患者さんです。治る患者さんばかりではなく、つらい症状に苦しんでいらっしゃる方も多く、それを支えるご家族の苦労も肌で感じてきました。多くのがん患者さんの診療を通して経験してきたことが、がん相談支援センターや遺伝子診療センターの仕事にも

つながっています。放射線治療医は英語ではRadiation oncologistといわれます。がん放射線を当てるだけの医師ではなくOncologist(がん治療を専門とする医師)としてこれからも研鑽しつつ、患者さん・ご家族に寄りそう医療の提供に尽力していきたいと思っています。最後に、このFACEが長く皆様の手に取って頂けるよう、充実した紙面作りに努力する所存ですので、これからもどうかよろしくごお願い致します。

# 滋賀県立総合病院がん相談支援センターについて



がん相談支援センターは、がん診療連携拠点病院には必ず設置すべき部門となっています。当院のがん相談支援センターも2007年4月に開設し、がん患者さんやそのご家族の相談に応じています。がん相談支援センターで相談できる内容は多様であり、医師・看護師・社会福祉士や臨床心理士など、多職種で活動を行っています。また、国立がん研究センターによる研修を受けたがん専門相談員も複数名常駐しています。がん相談支援センターは当院におかかりの方だけでなく、他のご施設にかかっている方、これから病院にかかろうとしている方などなたでも相談いただけますし、匿名での相談や電話・電子メールでの相談も可能です。また、当センターでは医療者の皆様にも役立つ情報提供を行っています。医療者でもわかりづらい、医療費や医療福祉制度のことなど何でもご相談に応じさせていただきます。直接患者さんや家族と話し合うのが難しい内容でも、対応させていただきます。

一般の方にはまだまだ「がん相談支援センター」の存在は周知できていません。当院ではがんと診断された患者さんが具体的な相談内容がなくても一度は当センターを訪れてくれることを目指して日々努力しています。お困りの事がありましたら、どなたでも気軽に お立ち寄り下さい。

## 〈がん相談の例〉

1. がんの治療・検査副作用について
2. 医療者とのコミュニケーション
3. 療養生活の過ごし方
4. 経済的負担と支援
5. 家族とのかかわり
6. 社会とのかかわり
7. 心のつらさのこと
8. 緩和ケア

がん相談支援センターへ  
ご利用の方は、新館1階「12B」  
までお越しください。



## 滋賀県立総合病院広報委員会(事務局総務課)

〒524-8524 滋賀県守山市守山五丁目4番30号  
電話077-582-5031(代表)

滋賀県立総合病院ホームページ  
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/>



※本誌へのご意見や感想等をぜひお寄せください。  
FACEしがネット受付サービス

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/surveys/8124789265493085857>



## 〈病気と治療の検索サイト&書籍販売について〉



症状や病名から気になる疾患の治療法などを検索できるサイトを公開中です！詳しくは下記 QRコードより当院ホームページをご確認ください。また、書籍「県民の元気をささえる——滋賀県立総合病院の最新医療」も院内売店やAmazonなどのオンラインで販売中です！当院医師が、気になる病気のことをQ&A方式でわかりやすく解説しています。ぜひ、ご覧ください。

当院ホームページURL

<http://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/center/news/326984.html>

